

Sitecore CMS 6

用語集

CMS 管理者、アーキテクト、開発者のための用語および定義集

目次

Chapter 1	イントロダクション	3
1.1	用語集	4

Chapter 1

イントロダクション

この文書には、Sitecore のユーザー インターフェイスと文書で使用されている用語の定義の一覧を記載しています。

用語は五十音順に並べられています。

それぞれの定義には、次の情報が含まれています。

- 用語 – 太字で表示
- カテゴリ – 用語の分類
- 定義 – 用語の簡単な定義

1.1 用語集

* **権利** [アクセス権]: すべてのアクセス権を同時に制御します。

__OnSave [事前定義されているワークフロー コマンド]: アイテムの保存時に自動的に呼び出される特殊コマンド。このコマンドで、アイテムが新しい状態に移行することはありません。その代わりにデベロッパーは、アイテムの保存時に自動的に呼び出されるアクションをこのコマンドに追加することができます。ワークフロー コマンドを利用できないページ エディター ユーザーのためにデフォルトのワークフロー動作を実装するとき、自動発行アクションとともに使用することを想定しています。

Core データベース [概念]: Sitecore CMS ユーザー インターフェースを定義するアイテムが含まれている標準データベース。

Everyone [ロール]: すべてのユーザーをメンバーとして含む仮想ロール。Sitecore には、グローバルな Everyone ロールと、定義された全ドメイン用のドメイン固有の Everyone ロールがあります。

FieldRenderer Web コントロール [プレゼンテーション コンポーネント]: フィールドの値を出力し、適切な場合にインライン編集機能を提供します。

GUID [アイテム プロパティ]: Globally Unique Identifier の略。Sitecore では、アイテムごとに GUID が割り当てられます。

Master データベース [概念]: 未公開のバージョンも含め、各バージョンの各アイテムが含まれている標準データベース。Master データベースには、Web サイトの履歴と、進行中の作業の両方が含まれます。

URL レンダリング [プレゼンテーション コンポーネント]: URL を呼び出し、body タグなどの外部タグを除外して、応答の残りを出力ストリームに書き込みます。定義アイテムと `Sitecore.Web.UI.WebControls.WebPage` Web コントロールとの組み合わせを指します。

Web コントロール [プレゼンテーション コンポーネント]: 標準 ASP.NET Web コントロールの Sitecore 固有の拡張。通常は、Web ページの一部や、HTTP 要求への応答を生成するために使用されます。定義アイテムと Web コントロール クラスとの組み合わせを指します。

Web データベース [概念]: 公開された Web サイトで使用可能なアイテムを含む標準データベース。Web データベースには、既に公開されている各言語で公開中の各アイテムの、公開可能な最新バージョンが含まれます。

XML レイアウト、XML コントロール、XML ダイアログ、XML フォーム [プレゼンテーション コンポーネント]: CMS ユーザー インターフェース コンポーネントを定義します。

XSLT レンダリング [プレゼンテーション コンポーネント]: 定義アイテムと、Sitecore の XML 表現から適切なマークアップ言語 (HTML など) にコンテンツを変換する XSLT コード ファイルとの組み合わせ。

アイコン [ユーザー インターフェース コンポーネント]: アイテム、アイテムの種類、およびデータ テンプレート セクションを視覚的に識別する際に使用できる小さな図。

アイテム [概念]: 処理可能なコンテンツの単位。情報を含むフィールドで構成されます。

アイテム エディター [ユーザー インターフェース コンポーネント]: コンテンツ エディターでアイテムを編集するためのユーザー インターフェース タブを提供します。

アカウント [セキュリティ コンストラクト]: ユーザーまたはロールを指す一般的な用語。

アクセス権 [セキュリティ コンストラクト]: 特定の方法でアイテムを取り扱う権限のこと。

アセンブリ [ASP.NET コンポーネント]: コンパイルされた .NET コードが .dll ファイルに含まれます。

エイリアス [概念]: 1 つのコンテンツ アイテムに対して代替の URL を提供します。

オリジネーター [アイテム プロパティ]: アイテムの作成に使用されたブランチ テンプレートのアイテムを指定します。

書き込みアクセス権 [アクセス権]: ユーザーがフィールド値を更新できるかどうかを制御します。書き込みアクセス権には、読み取りアクセス権と、フィールドごとにフィールド読み込み/フィールド書き込みのアクセス権が必要です (フィールド読み込み/書き込みはデフォルトで許可されます)。

管理アクセス権 [アクセス権]: ユーザーがアイテムに対するアクセス権を設定できるかどうかを制御します。管理アクセス権には、読み取りアクセス権および書き込みアクセス権が必要です。

管理者 [ユーザー]: 定義されているアクセス権にかかわらず、すべてのコンテンツと機能に対してフル アクセス権を持つ特別なユーザー。

許可 [アクセス権設定]: 選択したアカウントに関連したアクセス権を許可します。

拒否 [アクセス権設定]: 選択したアカウントへのアクセス権を拒否します。

クライアント セキュリティ ロール [セキュリティ コンストラクト]: システムがどの機能を各 CMS ユーザーに公開するかを制御します。

継承 [アクセス権設定]: アクセス権を許可または拒否します。あるユーザーのアクセス権のステータスは、ユーザーに設定されているすべての明示的なアクセス権、該当するアイテムとコンテンツ ツリーで上位にあるアイテムについて割り当てられているロールなど、多くの要因に基づいて決定されます。

言語 [概念]: サイトでサポートされている言語を表します。

言語書き込み権 [アクセス権]: ユーザーが特定言語バージョンのアイテムを更新できるかどうかを制御します。

言語読み取り権 [アクセス権]: ユーザーが特定言語バージョンのアイテムを読み取れるかどうかを制御します。

検証ワークフロー アクション [ワークフロー アクション]: 検証ルールを呼び出します。データが検証の要件を満たさない場合、アイテムは設定された次のワークフロー状態に移動できません。

公開 [プロセス]: 公開可能なアイテムを、Master データベースから 1 つまたは複数の公開ターゲット データベースにコピーする操作。

公開制限 [標準アイテム プロパティ]: アイテムを公開可能と判断するかどうかを制限し、公開可能と判断する場合には、公開可能な期間、公開可能なアイテムのバージョン、アイテムをコピーする公開ターゲットなどをアイテムに対して設定するプロパティ。

公開ターゲット [概念]: Sitecore がコンテンツを公開できる対象のデータベース。公開ターゲットは、公開ターゲット データベースまたはデータベース ターゲットとも呼ばれます。デフォルトの公開ターゲットであるインターネットは、Web データベースと呼ばれます。

コマンド テンプレート [テンプレート タイプ]: コンテンツ管理ユーザーがコンテンツ管理アプリケーションで対応する挿入オプションを選択すると呼び出される、特定のクラスのメソッド。このメソッドの目的は、ダイアログ ボックスまたはウィザードでユーザーに確認を促す質問への回答結果を処理する場合などに、適切なアイテムを作成するプロセスを自動化することです。

コンテキスト アイテム [プレゼンテーション概念]: 要求された URL によって指定されるアイテム。

コンテンツ アイテム [アイテム カテゴリ]: 公開された Web サイトで表示される情報を含むアイテム。

コントロール [プレゼンテーション コンポーネント]: サブレイアウト、XSLT レンダリング、Web コントロール、その他のレンダリングの種類を含む一般的な用語。

最終ワークフロー状態 [ワークフロー状態属性]: アイテムを公開可能にする状態。最終ワークフロー状態にないアイテムは、公開できません。

サイト アクセス権 [アクセス権]: ユーザーが特定のサイトにアクセスできるかどうかを制御します。

作成アクセス権 [アクセス権]: ユーザーが子アイテムを作成できるかどうかを制御します。作成アクセス権には、読み取りアクセス権が必要です。

削除アクセス権 [アクセス権]: ユーザーがアイテムを削除できるかどうかを制御します。削除アクセス権には、読み取りアクセス権が必要です。

サブアイテムの並べ替え [アイテム プロパティ]: 子アイテムの並べ替えロジックを制御します。アイテムでサブアイテムの並べ替えルールが指定されない場合、アルファベット順で子が並べ替えられます。

サブレイアウト [プレゼンテーション コンポーネント]: 定義アイテムと、ページの一部のレイアウトを定義する .ascx ファイルとの組み合わせ。

システム アイテム [アイテム カテゴリ]: 言語定義などのシステム設定情報を含む定義アイテム。

実効アクセス権 [セキュリティ コンストラクト]: ユーザーと割り当てられているすべてのロール、セキュリティ継承、ワークフロー状態のセキュリティ、ロック、保護、アクセス権に動的に影響するその他の要因について設定を考慮して、ユーザーに割り当てられたアクセス権のセット。

自動発行アクション [事前定義されているワークフロー アクション]: 特定のロールを割り当てられたユーザーによって呼び出されたとき、アイテムを新しい状態に移行させるアクション。ワークフロー コマンドを利用できないページ エディター ユーザーのためにデフォルトのワークフロー動作を実装するとき、__OnSave コマンドとともに使用することを想定しています。

初期ワークフロー [アイテム プロパティ]: 作成時にアイテムが開始する必要があるワークフローを参照します。

初期ワークフロー状態 [ワークフロー コンストラクト]: 作成時にアイテムが置かれる状態。現在最終ワークフロー状態にあるアイテムをユーザーが編集するとき、新しいバージョンのアイテムが置かれる状態でもあります。

ステージング [オプション モジュール]: コンテンツ管理の Sitecore インストール環境を、1 つまたは複数のコンテンツ デリバリの Sitecore インストール環境と分離すること。この設定では、コンテンツ デリバリ キャッシュの管理に Sitecore ステージング モジュールを採用し、オプションでファイルベースの資産をファイル システム間でレプリケートするのが一般的です。

静的バインディング [概念]: レイアウトまたはサブレイアウトでコントロールへの参照をハードコードする操作。

セキュリティ プリセット [ユーザー インターフェース コンポーネント]: ユーザーが、事前定義されたアクセス権のグループをアイテムに割り当てることができます。

セキュリティ プロバイダー [セキュリティ コンストラクト]: Sitecore インストール環境、または特定の Web サイトのアカウント情報を提供するエンティティ。

セキュリティ継承 [セキュリティ コンストラクト]: セキュリティ継承が無効な場合、ユーザーに付与される実効アクセス権は、ユーザーとそのユーザーに割り当てられたロールに指定されている設定によって決まります。セキュリティ継承が有効な場合、ユーザーに付与される実効アクセス権は、コンテンツ ツリーで上位にあるアイテムに指定されている設定によって決まります。

挿入オプション [アイテム プロパティ]: 特定のアイテムを選択する際にコンテンツ管理アプリケーションで挿入メニューにデータを投入するとき、Sitecore が使用するテンプレートの種類と挿入ルールを定義します。

挿入オプションのパイプライン [サーバー プロセス]: 挿入オプションの制御に使用されるグローバル ロジックが含まれます。

挿入ルール [カスタマイズ メソッド]: Sitecore が挿入メニューで表示するテンプレートのリストを作成する際に、ユーザーがコンテンツ管理アプリケーションでアイテムを選択すると呼び出される特定のクラスのメソッド。このメソッドの目的は、ビジネス要件に基づいて挿入メニューに対してテンプレートを追加または削除することです。

次の状態 [ワークフロー コマンド属性]: ユーザーがワークフロー コマンドをクリックしたときにアイテムの対象となる状態。

ツリー ノード スタイル [ユーザー インターフェース コンポーネント]: コンテンツ ツリーでアイテムの視覚的な属性を制御します。

定義アイテム [アイテム カテゴリ]: Web サイトの設定または実装について、いくつかの観点を記述したメタデータを含むアイテム。

データ テンプレート [テンプレート タイプ]: アイテムの種類に関連付けられるフィールドとセクションを定義します。

データ テンプレート セクション [テンプレート コンポーネント]: ユーザビリティを改善するためにコンテンツ エディターで関連するフィールドをグループ化するために使用されるコンストラクト。

データ テンプレート フィールド [テンプレート コンポーネント]: アイテム内に含まれるコンテンツの下位単位。

データ テンプレート フィールド タイプ [テンプレート コンポーネント]: コンテンツ管理アプリケーションにおけるフィールドと、フィールドコンテンツをストアする XML ストレージ エlementに使用される編集コントロールに影響します。

データ テンプレート継承 [概念]: データ テンプレートは、ほとんどの場合、他のベース テンプレートに基づいているため、それらのフィールドとセクションを継承します。データ テンプレートは、連続継承と複数継承のどちらにも対応しています。

データベース [概念]: XML 階層に整理されたアイテムのコレクション。

デバイス [プレゼンテーション コンポーネント]: レイアウト エンジンが、着信する HTTP 要求のプロパティに応じて、異なるレイアウト詳細をコンテンツ アイテムに適用できるようにする論理コンストラクト。

電子メール ワークフロー アクション [事前定義されているワークフロー アクション]: 電子メール通知を送信します。

テンプレート タイプ [概念]: コンテンツ管理ユーザーは、データ テンプレート、ブランチ テンプレート、コマンド テンプレートの 3 つのテンプレート タイプのいずれかを使用してアイテムを作成します。

動的バインディング [宣言]: レイアウトまたはサブレイアウトにプレースホルダーを定義し、アイテムごとに異なるコントロールをそのプレースホルダーに関連付ける操作。

ドメイン [セキュリティ コンストラクト]: プロファイル情報などのアカウントを含み、1 つの単位として管理されます。

名前の変更アクセス権 [アクセス権]: ユーザーがアイテムの名前を変更できるかどうかを制御します。名前の変更アクセス権には、読み取りアクセス権が必要です。

並べ替え順 [アイテム プロパティ]: 親アイテムに関連付けられているサブアイテムの並べ替え順を上書きし、その兄弟に対するアイテムの並べ替え順を明示的に制御します。

バージョン [概念]: 別個のフィールド値のセットを持つアイテムのコピー。アイテムには、サイトでサポートされている言語ごとに任意の数のバージョンを含めることができます。

パス [アイテム プロパティ]: 他のアイテムとの相対位置を示す一意のパス。

非表示 [アイテム プロパティ]: Sitecore でコンテンツ ツリーにアイテムを表示するかどうかを制御します。

表示名 [アイテム プロパティ]: コンテンツ ツリーでアイテムに表示するラベル。表示名を指定すると、アイテム名のデフォルト表示は上書きされます。

標準テンプレート [テンプレート コンポーネント]: すべてのアイテムに必要なフィールドとセクションを定義するベース テンプレート。

フィールド セキュリティ [セキュリティ コンストラクト]: データ テンプレート フィールドに関連付けられるアクセス権設定。

フィールド ヘッダー [ユーザー インターフェイス コンポーネント]: コンテンツ エディターでフィールドの上にある領域。コンテキストに関する情報と、フィールドを編集するためのコントロールが表示されます。

フィールド書き込み権 [アクセス権]: ユーザーがアイテム上の特定のフィールドを更新できるかどうかを制御します。

フィールド読み取り権 [アクセス権]: ユーザーがアイテム上の特定のフィールドを読み取れるかどうかを制御します。

フォルダー [アイテム カテゴリ]: フィールドを持たず (標準テンプレートから継承したフィールドは例外)、他のアイテムのコンテナーとして機能するアイテム。

ブランチ テンプレート [テンプレート タイプ]: コンテンツ管理ユーザーが適切なコンテンツ管理アプリケーションで 1 つの挿入オプションを選択して作成できる、アイテムとサブアイテムのグループ。

プレースホルダー [プレゼンテーション コンポーネント]: レイアウト詳細に従って他のコントロールがバインドされるレイアウトまたはサブレイアウトの領域を定義するコントロール。

プレースホルダー設定 [ユーザー インターフェイス コンポーネント]: ページ エディターのデザイン ペインにおけるプレースホルダーの外観を設定します。どのユーザーにプレースホルダーが表示されるか、どのコントロールがプレースホルダーに割り当てられるかを制限することもできます。

プロキシ [概念]: アイテムまたはブランチが、コンテンツ ツリーで複数の場所に表示されます。

ベース テンプレート [テンプレート コンポーネント]: フィールドとセクションを他のデータ テンプレートに提供するデータ テンプレート。

ホーム アイテム [アイテム]: 論理 Web サイト内で、ホーム ページを表すアイテム。

保護 [アイテム プロパティ]: Sitecore で、コンテンツ エディターや他のアプリケーションを使用してアイテムを変更できるかどうかを制御します。保護はセキュリティ設定ではないため、管理者ユーザーでも保護されたアイテムを変更することはできません。ただし、アイテムの保護ステータスを無効にすることはできます。また、同様の理由から、アイテムを保護しても .NET コードによるアイテムの変更は制限されません。

メソッド レンダリング [プレゼンテーション コンポーネント]: .NET メソッドで返される文字列をレンダリングします。定義アイテムとアセンブリのメソッドとの組み合わせを指します。

メディア アイテム [アイテム カテゴリ]: バイナリ メディア リソースと、場合によってはそのメディアを含むディスク上のファイルに関する情報が含まれるアイテム。

ユーザー [セキュリティ コンストラクト]: Sitecore コンテンツ管理クライアントにアクセスする人、または公開された Web サイトを訪問する人。認証されていない訪問者は、"匿名" ユーザーと呼ばれます。

読み取りアクセス権 [アクセス権]: ユーザーのコンテンツ ツリーや公開された Web サイトにアイテムが表示されるかどうかを制御します。

リッチ テキスト エディター プロファイル [ユーザー インターフェース コンポーネント]: Sitecore Core データベースで定義される一連の設定アイテム。リッチ テキスト フィールドの編集に使用されるアプリケーションで使用可能な機能を制御します。

リンク [フィールド タイプ]: 他のアイテムの ID を含むフィールド。

レイアウト [プレゼンテーション コンポーネント]: 定義アイテムと、ページのレイアウトを定義または HTTP 要求に応答する .aspx ファイルとの組み合わせ。

レイアウト プリセット [ユーザー インターフェース コンポーネント]: ユーザーが、事前定義されているレイアウト詳細をアイテムに適用できます。

レイアウト詳細 [アイテム プロパティ]: サイトでサポートされるデバイスごとの特定のアイテムにページを生成するときに、Sitecore が使用するよう設定されているレイアウトと動的コントロール。

レンダリング [概念]: Web コントロールのレンダリング、XSL レンダリング、URL レンダリング、メソッド レンダリング、Web パーツのレンダリング、サブレイアウトの使用方法などを含む一般的な用語。

レンダリング データ ソース [概念]: XSLT レンダリングまたは他のコントロールにパラメーターとして渡されるレンダリング ダイアログボックスで指定されるアイテム。アイテムを指定しない場合、デフォルト値はコンテキスト アイテムです。

ローカル管理者 [ロール]: 1 つまたは複数のローカル管理ドメインでアカウントを管理できるアクセス権を持つユーザー。

ローカル管理ドメイン [セキュリティ コンストラクト]: ドメインで定義されているユーザーに対し、ドメイン自体で定義されているアカウントについての情報のみを表示するドメイン。

ロール [セキュリティ コンストラクト]: アクセス権を指定でき、ユーザーまたは他のロールに割り当てることができる名前。

ロール イン ロール [概念]: ユーザーをロールのメンバーにする場合と同じように、ロールを他のロールのメンバーとして設定できる機能のこと。

ロック [アイテム プロパティ]: 複数のユーザーが 1 つのアイテムを同時に更新しないようにします。ロックしても公開は禁止されませんが、最終ワークフロー状態に関連付けられているバージョンのアイテムをロックすると、新しいバージョンのアイテムが作成され、そのアイテムに関連付けられたワークフローの初期ワークフロー状態に置かれます。

論理 Web サイト [概念]: Sitecore で管理される Web サイト。Sitecore インストール環境ごとに、任意の数の論理 Web サイトをホストすることができます。デフォルトで Sitecore は複数の論理 Web サイトを管理します。論理 Web サイトにはターゲット Web サイトと、Sitecore ブラウザーベースのクライアントが含まれます。

ワークフロー [ワークフロー コンストラクト]: 公開可能となるまでにアイテムが通過する状態とコマンドのコレクション。

ワークフロー アクション [ワークフロー コンストラクト]: アイテムがある状態に移行するとき、またはユーザーが特定のコマンドを起動するときの副作用として呼び出される .NET メソッド。

ワークフロー コマンド [ワークフロー コンストラクト]: コンテンツ管理ユーザーに示される、アイテムをあるワークフロー状態から別のワークフロー状態に移行させるコマンド。

ワークフロー コマンド実行権 [アクセス権]: 特定のワークフロー コマンドがユーザーに表示されるかどうかを制御します。

ワークフロー状態 [ワークフロー コンストラクト]: ワークフロー プロセスにおけるステップを表します。

ワークフロー状態削除権 [アクセス権]: 特定のワークフロー状態に現在関連付けられているアイテムを、ユーザーが削除できるかどうかを制御します。

ワークフロー状態書き込み権 [アクセス権]: 特定のワークフロー状態に現在関連付けられているアイテムを、ユーザーが更新できるかどうかを制御します。